

ネイチャーセンター ガイド (90)

なすジュースの成果とこれから・・・

研究・開発というのは怖いもので、ある程度の限界を超えるとたまらなくおもしろくなってくる。でも、限界までいくことが大変なのだが・・・。

なすジュースの開発をしながら、いつの間にかその域を超え楽しくなってきた、いや「もっとおいしくなるのでは?」と考え始めている学生スタッフさえいる。

のびのび自然塾合宿にて、なすの嫌いな塾生たちになすを少しでも好きになってもらおうとなすジュースの開発を企画。当日は、買い物もなすの存在に気づかれないようにし、製造も見つからないように専門スタッフまでおいた。

いよいよ、ジュースが塾生の手元にわたった。



どんな言葉になってかえってくるのか? その瞬間を待ちわびていた。「あれ? 以外に反応が無い」。次々とおかわりがされていく。「なすくさい」などの声は「ごちそうさま」をするまでひと言もでなかったのだ。現時点での完璧なまでのなすジュースが仕上がった瞬間だった。なす嫌いな男子が4杯もおかわりをしたほどだった。手をかけ、気持ちを込めれば、なんだって成し遂げられることをスタッフたちは学び感じとったであろう。

やがて、ジュースが「なす」であったことを発表する時がきた。なすジュースの発案者、塾のリーダー「N」がニヤニヤしながら発表した。それほど非難をあびるようなことはなかった。仲間たちもすんなりと受け入れた様子だった。Nにとってはひとつの成果が上がった。発案し、試験し、飲んでもらうことの一連が、通過点に過ぎないことをNは学んだに違いない。

Nと塾生たちの成長を見守りながら、なすジュースのこれからも見守っていく。どこにでもありそうだけれど、どこにもないことを、企画し実践し続けていきたい。

連絡・問合先 ☎(45)6222

宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター

開館時間: 午前9時から午後4時まで

休 館 日: 月曜日、祝祭日の翌日

伝言板

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部(大月保健所)

きのこによる

食中毒にご注意を!

秋はきのこ狩りの季節です。この時季、有害・有毒物質を含む毒きのこによる食中毒が発生しますが、毎年同じような毒きのこが原因となっています。

次の3種の毒きのこには特に気をつけましょう。

★カキシメジ【毒】 雑木林、マツ林の地上で発生します。食用のチャナメツムタケと間違われます。

★クサウラベニタケ【毒】 雑木林、マツ林の地上で発生します。食用のウラベニホテイシメジと間違われます。

★ツキヨタケ【毒】 ブナ、ミズナラなどの枯れ木上に発生します。食用のムキタケと間違われます。

中毒症状は、いずれも嘔吐、下痢、腹痛などです。

《きのこの誤った見分け方》

- 地味な色のきのこは食用
- 縦に裂けるきのこは食用
- 虫が食べるきのこは食用
- なすと煮れば毒が消える
- 食べられるかどうか分からない時は、大月保健所衛生課までご相談ください。

『1119の健康相談』

こころの問題は目に見えないものです。もし、家族や周りの人の中で最近、眠れなかつたり、イライラするなど精神的なストレスを感じていることがありましたら、お早めにご相談ください。

◎こんな相談をお受けしています。

児童・思春期の不登校、成人の精神的ストレスなどによる各種疾患、問題飲酒、高齢者の認知症、こころの健康に関する諸問題など

☆精神保健福祉相談員などによる相談

・実施日 随時

午前8時30分～午後4時

☆精神科医師による相談

○精神保健福祉相談

・実施日 毎月第2水曜日

午後2時～4時

○老人精神保健福祉相談

・実施日 毎月第4水曜日

午後2時～4時

*予約制です。あらかじめ電話で申し込んでください。

☆申込先 障害・家庭福祉課

☎(22)7826